

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社  
 コード番号 5935 URL <http://www.gantan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船木 亮亮

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 室岡 正己

TEL 0466-45-8771

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	6,064	4.6	229	83.7	165	189.3	182	548.9
22年3月期第3四半期	5,796	28.4	124	—	57	—	28	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	23.71	—
22年3月期第3四半期	3.65	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	7,298	1,517	20.8	197.67
22年3月期	6,255	1,336	21.4	173.97

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,517百万円 22年3月期 1,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	9.9	300	21.4	200	31.4	170	55.5	22.03

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ「2.その他の情報(1)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要」をご覧ください。  
(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

詳細は、3ページ「2.その他の情報(2)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご覧ください。

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	7,716,063株	22年3月期	7,716,063株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	36,768株	22年3月期	36,268株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	7,679,745株	22年3月期3Q	7,681,645株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
【第3四半期会計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新興国向けを中心とした輸出の拡大や政府の経済対策などにより、一部の業種において景気持ち直しの動きが見られるものの、円高やデフレ傾向が長期化するなか、雇用環境の改善は進まず、景気は足踏み状態が続いております。

また、建設業界においては、公共投資の一部に景気対策などの工事発注があったものの、設備投資全般において低い水準で推移しており、依然厳しい市場環境が続いております。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,064百万円（前年同期比4.6%増）となりました。その内訳は製品売上高が3,979百万円（前年同期比11.3%増）、請負工事高は2,084百万円（前年同期比6.1%減）となりました。また、損益面におきましては、売上高が増加したことにより、営業利益は229百万円（前年同期比83.7%増）、経常利益は165百万円（前年同期比189.3%増）となりました。四半期純利益については、あらたに繰延税金資産34百万円を計上したことにより、四半期純利益は182百万円（前年同期比548.9%増）となりました。

なお、当社の売上高は建設業界固有のマーケット特性により、事業年度の後半に著しく増加する傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,042百万円増加し7,298百万円となりました。その主な要因としては、売上高増加に伴い売上債権が288百万円増加したこと、また、今後の売上高増加に対応して、たな卸資産が611百万円増加したことなどによります。

負債合計は、仕入債務が692百万円増加したこと、また、運転資金の借入れにより借入金が増加したことなどにより、前事業年度末に比べ860百万円増加し5,780百万円となりました。

純資産合計は、当第3四半期累計期間の四半期純利益の影響により、前事業年度末に比べ181百万円増加し1,517百万円となり、自己資本比率は20.8%になりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、前年同期に比べ増収増益となっており、業績はおおむね予定通りに進捗しており、通期の業績予想につきましては、平成22年11月5日付「平成23年3月期第2四半期決算短信（非連結）」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響額はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	427,770	403,136
受取手形及び売掛金	1,544,421	965,859
完成工事未収入金	341,607	631,973
製品	440,137	350,786
仕掛品	12,765	20,427
未成工事支出金	619,015	138,777
原材料	419,628	369,560
その他	279,186	154,996
貸倒引当金	△3,260	△4,210
流動資産合計	4,081,272	3,031,307
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	640,359	676,902
機械及び装置(純額)	294,898	351,909
土地	1,795,133	1,795,133
その他(純額)	127,381	122,517
有形固定資産合計	2,857,772	2,946,462
無形固定資産	28,881	32,060
投資その他の資産		
その他	500,623	418,116
貸倒引当金	△170,222	△172,433
投資その他の資産合計	330,400	245,683
固定資産合計	3,217,053	3,224,205
資産合計	7,298,326	6,255,513
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,056,330	1,305,150
工事未払金	247,422	305,664
短期借入金	1,145,080	865,590
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	20,637	30,251
製品保証引当金	38,895	37,661
その他	397,947	408,255
流動負債合計	3,941,313	2,987,572
固定負債		
社債	197,500	215,000
長期借入金	1,316,483	1,402,023
退職給付引当金	289,707	276,368
その他	35,354	38,462
固定負債合計	1,839,044	1,931,853
負債合計	5,780,357	4,919,425

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	265,468	83,353
自己株式	△14,347	△14,186
株主資本合計	1,518,042	1,336,087
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△72	—
評価・換算差額等合計	△72	—
純資産合計	1,517,969	1,336,087
負債純資産合計	7,298,326	6,255,513

(2) 四半期損益計算書  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	5,796,264	6,064,510
売上原価	4,212,096	4,277,755
売上総利益	1,584,168	1,786,755
販売費及び一般管理費	1,459,347	1,557,515
営業利益	124,820	229,239
営業外収益		
受取利息	326	356
受取配当金	3,006	3,015
仕入割引	2,833	2,042
その他	4,305	5,775
営業外収益合計	10,472	11,190
営業外費用		
支払利息	55,299	48,161
その他	22,846	26,935
営業外費用合計	78,146	75,097
経常利益	57,146	165,332
特別利益		
固定資産売却益	644	—
貸倒引当金繰入額	—	2,234
保証債務取崩益	250	—
特別利益合計	894	2,234
特別損失		
固定資産除却損	—	58
貸倒引当金繰入額	275	—
投資有価証券売却損	—	1,500
会員権評価損	500	—
投資有価証券評価損	10,000	—
特別損失合計	10,775	1,558
税引前四半期純利益	47,266	166,008
法人税、住民税及び事業税	19,201	18,785
法人税等調整額	—	△34,892
法人税等合計	19,201	△16,106
四半期純利益	28,064	182,115

## 【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,760,719	2,424,960
売上原価	1,955,246	1,660,539
売上総利益	805,472	764,420
販売費及び一般管理費	499,234	534,447
営業利益	306,238	229,973
営業外収益		
受取利息	104	146
仕入割引	948	942
その他	765	657
営業外収益合計	1,817	1,745
営業外費用		
支払利息	18,742	15,674
手形売却損	4,372	3,959
その他	3,430	7,171
営業外費用合計	26,545	26,806
経常利益	281,510	204,913
特別利益		
固定資産売却益	644	—
貸倒引当金戻入額	—	1,277
特別利益合計	644	1,277
特別損失		
固定資産除却損	—	58
貸倒引当金繰入額	275	—
投資有価証券評価損	10,000	—
特別損失合計	10,275	58
税引前四半期純利益	271,880	206,132
法人税、住民税及び事業税	6,175	6,072
法人税等調整額	—	△34,892
法人税等合計	6,175	△28,820
四半期純利益	265,705	234,952

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。